

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 15 日

評価対象事業		評価者	都市計画課 担当課長 久保 智史	
まち-10	交通環境整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市計画課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、関係事業者との調整を行った。</li> <li>「パークアンドライド」の案内看板について、維持修繕を行った。</li> <li>令和2年(2020年)4月から利用を停止していた由比ガ浜パークアンドライドの再開に向け、関係事業者との調整を行い、令和5年度中に再開の見込みが立った。</li> </ul>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	交通量調査事務	-		- / -	-	-	
				0 / 0	0	0	
02	「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」事務	パークアンドライド案内看板修繕 など	パークアンドライド、鎌倉フリー環境手形の利用数(台+枚)	10,717 / 902	38,000 / 993	38,000 / 1,048	28%
03	江ノ電社会実験事務	-	沿線住民等の利用状況(人)	- / 0	150 / 12	200 / 12	
04	一般事務経費	消耗品等		- / 799	- / 801	- / 801	
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/	0	0	
			地方債	/	0	0	
			その他特定財源	/	1	1	
			一般財源	1,701 /	1,805	1,860	
			<b>事業費の合計(千円)</b>		<b>1,701 / 1,806</b>	<b>1,861</b>	
			<b>人件費(千円)</b>		<b>8,356</b>	<b>10,910</b>	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.3	1.1	1.1	1.4		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	交通量調査事務	指標設定しない。(事業の見直しにより、交通量調査業務委託を廃止したため。)	交通量調査は、市域全体の交通量等を把握するとともに、圏央道開通による交通体系の変化を把握する基礎となるものであり、今後交通マスタープランを改定するために不可欠な調査である。	交通量調査に代わり、AIカメラ等を活用することで日常的に交通量等を把握できるが、計測した交通量等データの活用方法が課題となっている。
02	「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」事務	当該事業の実施によって、自動車から公共交通への転換を図っているため。	自動車利用を抑制する交通需要マネジメント施策の推進は、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組である。	パークアンドライド等は、利用できる駐車場が国道134号沿線に偏っているため、他のルートからの流入車両による交通渋滞の緩和には繋がっていない。このことから、令和3年度から、大船パークアンドライドの運用を開始した。
03	江ノ電社会実験事務	沿線住民等が優先的に駅構内に入場できる取組であるため。	本取組は、駅構外に観光客が並ぶことで、沿線住民が利用する際にも長い待ち時間が生じることから、沿線住民等が優先的に駅構内に入場できるというものであり、基本計画で目標とする交通環境の改善に必要な取組である。	ピーク時間における運転本数の増などのハード対策が難しい状態にあることから、本取組のようなソフト面での対策を実施するほかない。
04	一般事務経費	-	-	-
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 交通事業者、駐車場管理者

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止

- ・パークアンドライド及び鎌倉フリー環境手形は、慢性化した交通渋滞の解消や公共交通機関の利便性の向上を図ることなどを目的としており、事業費削減の余地はなく、関連・類似事業との統合もできない。
- ・パークアンドライド等は、利用できる駐車場が国道134号沿線に偏っているため、他のルートからの流入車両による交通渋滞の緩和には繋がっていないことから、令和3年度から、大船パークアンドライドの運用を開始した。
- ・パークアンドライド等は、交通事業者等との協働事業であり、社寺及び店舗からの協力を得て、特典等のサービスが受けられるような仕組みを構築し、適切に事業を実施している。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	パークアンドライド、鎌倉フリー環境手形の利用数						単位	台+枚
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施によって、自動車から公共交通への転換を図っているため。	目標値	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	
	実績値	3,587	3,541	10,717				
	達成率	9.4%	9.3%	28.2%				

指標(単位)	沿線住民等の利用状況						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
沿線住民等が優先的に駅構内に入場できる取組であるため。	目標値	150.0	150.0	150.0	200.0	200.0	200.0	
	実績値	-	-	-	46.0	-	-	
	達成率	-	-	-	28.2%	-	-	

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--